

会員数	40,464	(前月比) +	38
郵送	8,874	(前月比) +	91
手配り	28,136	(前月比) -	50
協同基金到達額	2,531,404,000円(9/30現在)		
	[前月比 9,653,000減]		
協同基金出資者数	21,530名(9/30現在)		
いのちを守る助け合い募金額	23,064円(9/1~30)		

# 「つながり」いかして、 「安心して住みつづけられる」まちづくり

湊西支部  
会員さん訪問の報告▶



グループ  
▼ディスカッション



法人報告をする森専務

## 月間目標達成に向けて 「拡大代表世話人会議」

10月6日みみはらホール

新型コロナウイルスの影響で、1カ月遅れとなっていた「拡大代表世話人会議」を開催しました。代表世話人、支部長、支

部役員、専務、事務局長、事務局員の49人が参加しました。

まだまだ油断できないコロナ禍での月間の方針を報告。この間の支部・

委員会の報告では、北区の子ども食堂や農園を借りての野菜づくり、湊西支部の会員さん訪問、健康づくり委員会からはフ

レイル予防・筋活の意義と、各支部に広がりつつある「フレイル予防体操」が報告されました。2023年から始まる鳳フラインックの建替えと、建設のスタート集会和位置づけた「鳳健康まつ

り」への協力のお願いがありません。グループディスカッションでは、「職員と一緒に会員訪問をしたい」「健康体操をうちの支部でも」「鳳健康まつり成功に向けての行動を具体化した」「何としても担い手増やしを」「支部が大きすぎて、支部分割が必要」など、積極的な意見が出されました。「拡大強化月間」は、12月12日(月)まで取り組みます。皆さんのお力をお貸しください。

## とも friend はこうして 作られています

みなさんのお便りが一番の力

2020年9月から、編集委員会に参加するようになりました。初めて参加した時は、何をすればいいのか分からず、ただ話を聞くだけでしたが、今は自分なりの意見も言えるようになり、前とは違う角度から新聞を読むようになりました。



毎月寄せられる約130通の「お便り」

まず来月号に掲載する記事を読み、意見を出します。会員さんからお便りを読むと、「隅々まで読まれてるなあ」と驚きました。

次に、次々月号の企画について検討します。「私の戦争体験」「簡単レシピ」は人気です。「医療、介護、健診の現場から」「聴診器」編集後記」も読むようになりました。一番よく読むのは、3面の「お便り」です。

共栄圏を作る」という名のもとに、南方へも軍事侵攻したのです。当時はこれを、「大東亜戦争」と呼んだ▼南方へ派兵された部隊の中に、画家・大田健一さんがいた。部隊はマレー半島に上陸し、英国と戦闘を交える。これら戦闘や小休止も含めて、多くの光景を「絵」として残し、後年、「従軍画集・遙かなる戦陣の日々」を発売した▼画集を開くと、煌々たる月下の行軍に始まり、ヘジャングル地帯を行く、至近弾に身を伏せる、ヘジャングル内の野戦病院、(末期の水で励ます) (集中砲火マレー戦線) ゴム密林内で英軍の猛砲撃を受け死傷続出 (遺言を聴く) などなど。加えて行軍の経路・地名・月日、さらに激戦地の印もあり、これは戦争の記録です▼無事帰還後、耳原総合病院にほど遠くないところに居を構えた。数々の個展を催した中の挨拶文で、「かつては富国強兵、現在では経済大国、軍備増強への危機」を訴え、その上で「自身の体験を描き残すことも意味のあることではないか」としています。『日展入選』9回、戦闘の体験を持つ大田健一さんの言葉は重い。(八田兄二)

## 聴診器

1941年12月8日は太平洋戦争開戦日。ハワイ真珠湾攻撃と同時に、軍部は「東アジアに